

4 日中活動系サービスの必要見込量

【 生活介護・就労継続支援（B型）・療養介護 】

サービス支給決定時の一人当たりの必要サービス量

サービス名称	サービス内容
生活介護	常に介護を必要とする人に、施設で入浴や排せつ、食事の介護や創作的活動の機会を提供します。
就労継続支援（B型）	就労に必要な知識・能力の向上などを図るため、雇用契約を結ばない就労機会の提供などを行います。
療養介護	医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護及び日常生活上の支援を行います。

利用見込人数（実利用者数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
生活介護	65	72	67	71	73	73
就労継続支援(B型)	73	68	74	62	60	60
療養介護	7	7	7	7	7	7

実人員の現状と第5期最終年度の目標値の設定

生活介護は、利用希望する方が増加傾向にあるため、作成時の利用者数に過去2年間の平均新規利用者数を加味した人数とします。

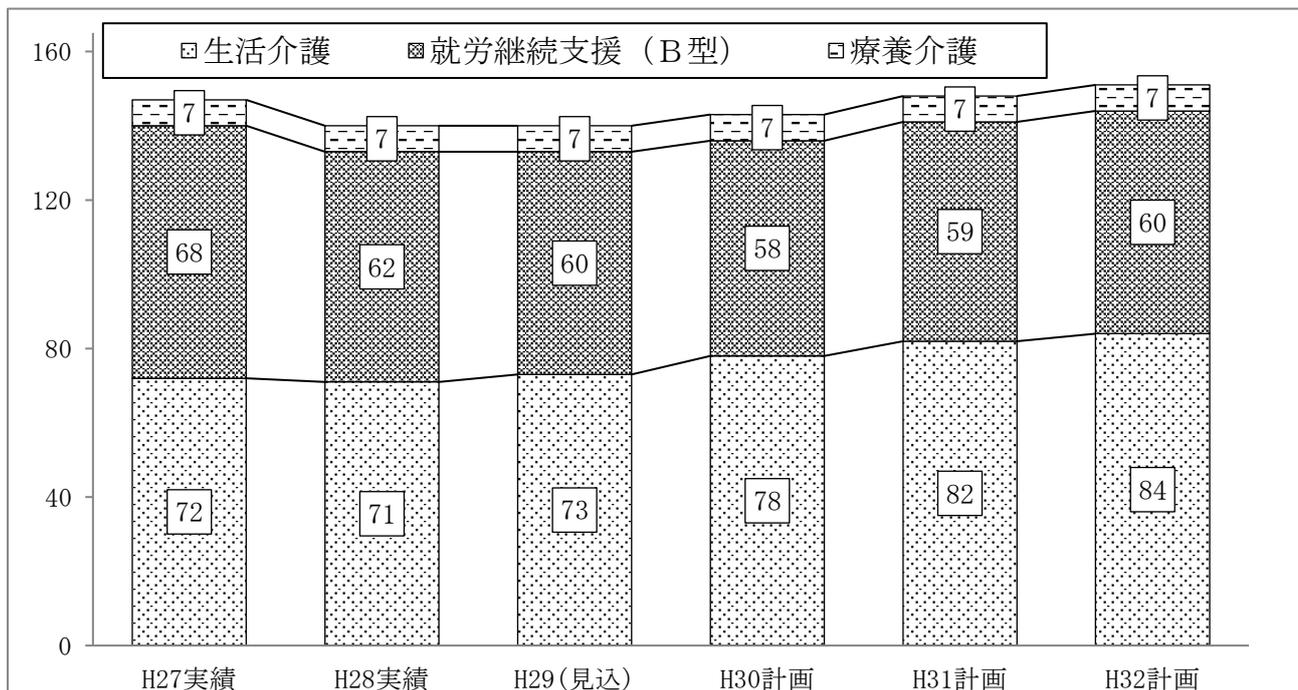
就労継続支援（B型）は、通所が可能な他市区域の就労継続支援（A型）事業所の利用を希望される方が増加しているため減少傾向にありますが、サービスの必要見込量を確保することから現状の利用者数に新規利用者を見込みます。

療養介護は、施設等の定員の都合により、利用者に変動がないことから現状をそのまま見込みます。

一月当たりの 標準的決定サービス量	平成29年度上半期 平均必要サービス量	計画作成時の 利用者数
22日 〔一月(30日)から土日 (8日間)を引いた日数〕	20日	73人
	20日	60人
31日	30日	7人

(単位：人)

サービス体系	第5期計画			平成32年度 (第5期) 目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
生活介護	78	82	84	84
就労継続支援(B型)	58	59	60	60
療養介護	7	7	7	7



【 生活介護・就労継続支援（B型）・療養介護 】

利用見込人数（一月当たりの利用延人数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
生活介護	1,430	1,414	1,474	1,438	1,518	1,501
就労継続支援(B型)	1,606	1,224	1,628	1,109	1,320	1,200
療養介護	210	214	210	213	210	211

一月当たりの利用延人数の現状と第5期最終年度の目標値の設定

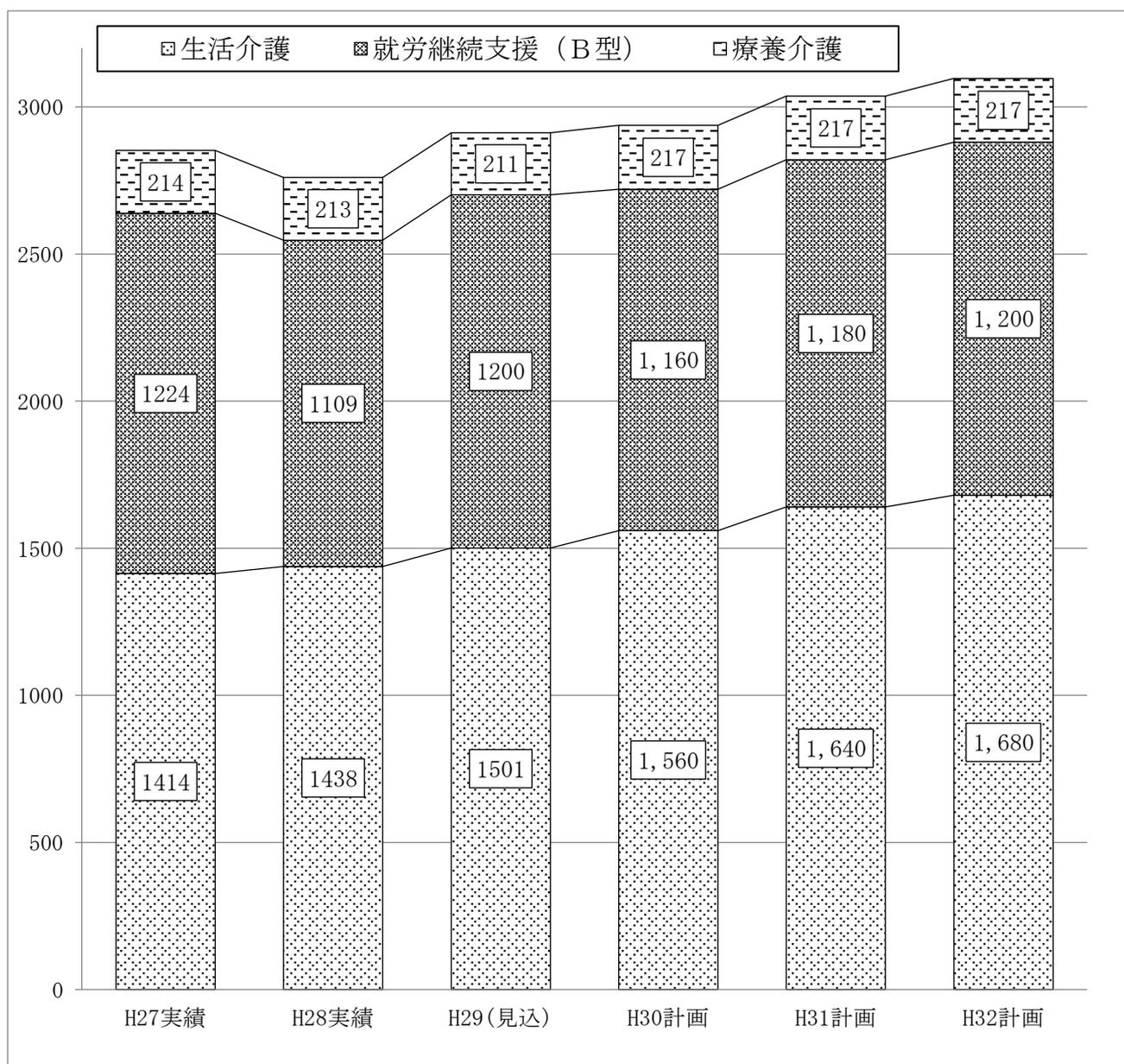
生活介護は利用者が増加傾向にありますが、一人当たり決定サービス量22日に対して、平均実利用日数は20日であることから、平均実利用日数を基本として目標値を設定します。

就労継続支援（B型）は利用者数が減少傾向にありますが、生活介護と同様に、一人当たり決定サービス量22日に対して、平均実利用日数は20日であることから、平均実利用日数を基本として目標値を設定します。

療養介護は、常時介護を要するサービスを必要とすることから、平均実利用日数30日ではなく、決定サービス量31日を基本として目標値を設定します。

(単位：人／月)

サービス体系	第5期計画			平成32年度 (第5期) 目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
生活介護	1,560	1,640	1,680	1,680
就労継続支援(B型)	1,160	1,180	1,200	1,200
療養介護	217	217	217	217



【 自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・短期入所 】

サービス支給決定時の一人当たりの必要サービス量

サービス名称	サービス内容
自立訓練（機能訓練）	自立した日常生活や社会生活ができるよう、理学療法や作業療法など日常生活に係る訓練などの支援を行います。
自立訓練（生活訓練）	自立した日常生活や社会生活ができるよう、日常生活に係る訓練や相談などの支援を行います。
短期入所 （医療型・福祉型）	自宅で介護する人が病気の場合などに、短期間、施設で介護を行います。

利用見込人数（実利用者数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
自立訓練（機能訓練）	1	0	1	0	1	1
自立訓練（生活訓練）	5	4	5	3	3	3
短期入所（医療型）	1	1	1	1	1	1
短期入所（福祉型）	4	6	4	4	5	5

実人員の現状と第5期最終年度の目標値の設定

自立訓練（機能訓練）は近隣に対応できる事業所がないため利用者おりませんが、サービス必要量確保の観点から1名を見込みます。

自立訓練（生活訓練）は希望する利用者の開始と中止の変動があることから第4期計画の平均利用者数を見込みます。

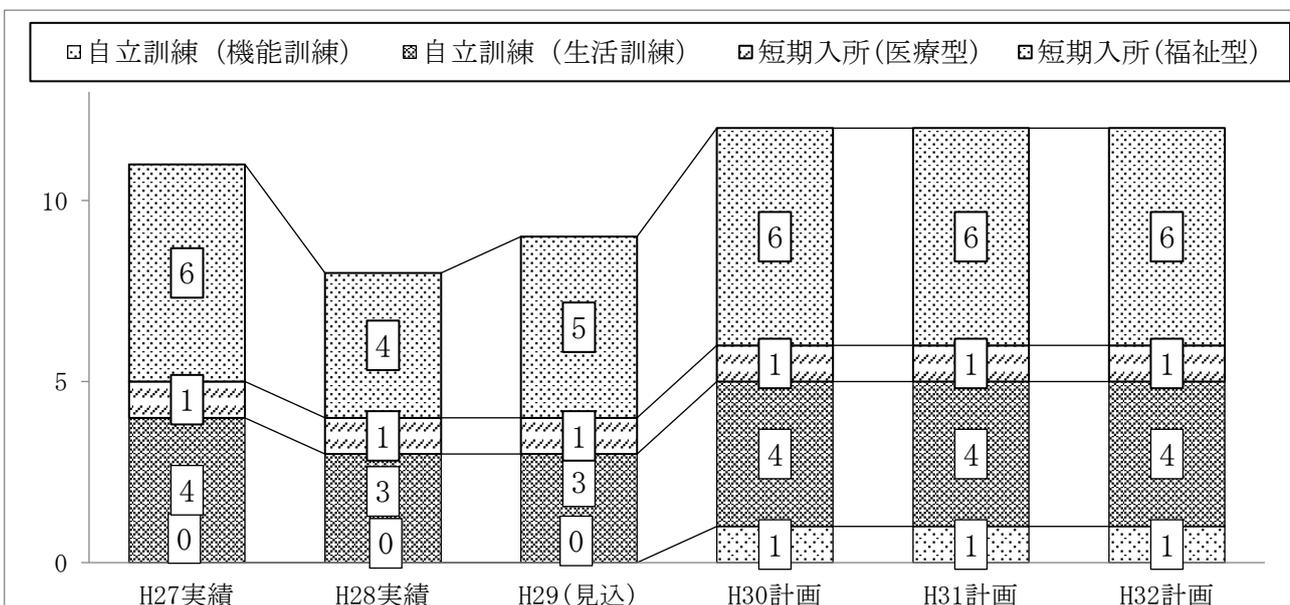
短期入所（医療型）は現在1名の利用者がいるため、継続して1名の利用を見込みます。

短期入所（福祉型）は現在5名の登録があり、将来的な施設入所へ向けた入所体験利用が増えていることから毎年1名の新規を加味した人数を見込みます。

一月当たりの標準的決定サービス量	平成29年度上半期平均必要サービス量	計画作成時の利用者数
22日 〔一月(30日)から土日(8日間)を引いた日数〕	0日	0人
	12日	3人
必要とする日数	5日	6人

(単位：人)

サービス体系	第5期計画			平成32年度(第5期)目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
自立訓練(機能訓練)	1	1	1	1
自立訓練(生活訓練)	4	4	4	4
短期入所(医療型)	1	1	1	1
短期入所(福祉型)	6	6	6	6



【 自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練）・短期入所 】

利用見込人数（一月当たりの利用延人数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
自立訓練（機能訓練）	22	0	22	0	22	22
自立訓練（生活訓練）	110	51	110	9	66	36
短期入所（医療型）	5	2	5	2	5	2
短期入所（福祉型）	25	21	25	21	25	28

一月当たりの利用延人数の現状と第5期最終年度の目標値の設定

自立訓練（機能訓練）は利用者がおりませんが、必要サービス量確保から1名分一月当たりの上限22日間を見込むものとします。

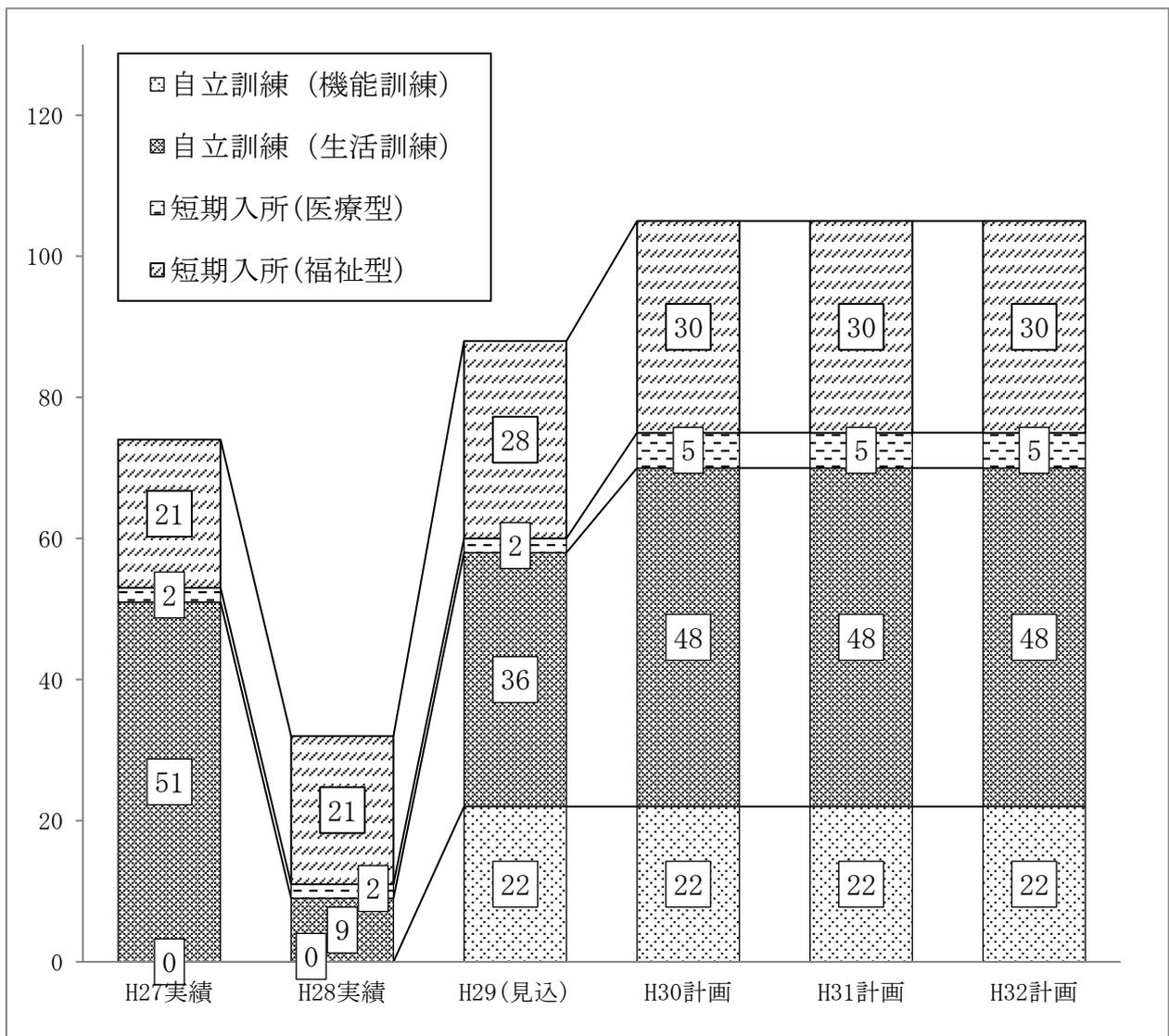
自立訓練（生活訓練）は、一人当たり決定サービス量22日に対して、平均実利用日数が12日であることから、利用実態に合わせて平均実利用日数を基本とした目標値を設定します。

短期入所（医療型）は、医療的ケアを必要とする利用であり、利用者1名が安心して利用できる目標値を確保、設定します。

短期入所（福祉型）は、突発的な入所支援、障がい者虐待による一時保護等による利用を考慮した目標設定を行います。

(単位：人／月)

サービス体系	第5期計画			平成32年度 (第5期)
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	目標値
自立訓練（機能訓練）	22	22	22	22
自立訓練（生活訓練）	48	48	48	48
短期入所（医療型）	5	5	5	5
短期入所（福祉型）	30	30	30	30



【 就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労定着支援 】

サービス支給決定時の一人当たりの必要サービス量

サービス名称	サービス内容
就労移行支援	生産活動や職場体験などを通じて、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練、就労相談や支援を行います。
就労継続支援（A型）	雇用契約に基づく生産活動の機会の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練などを行います。
就労定着支援	就労移行支援等の利用を経て、一般就労へ移行したかたで就労に伴う環境変化による生活面の課題への支援を行います。

利用見込人数（実利用者数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
就労移行支援	3	7	8	9	5	5
就労継続支援（A型）	3	6	8	13	16	16
就労定着支援						

実人員の現状と第5期最終年度の目標値の設定

就労移行支援は、養護学校等卒業前の体験利用のため一時的に増加しましたが、体験利用終了後に継続利用する者がいなかったことから、第5期計画の目標値は継続利用する者に、新規利用者を加味した人数とします。

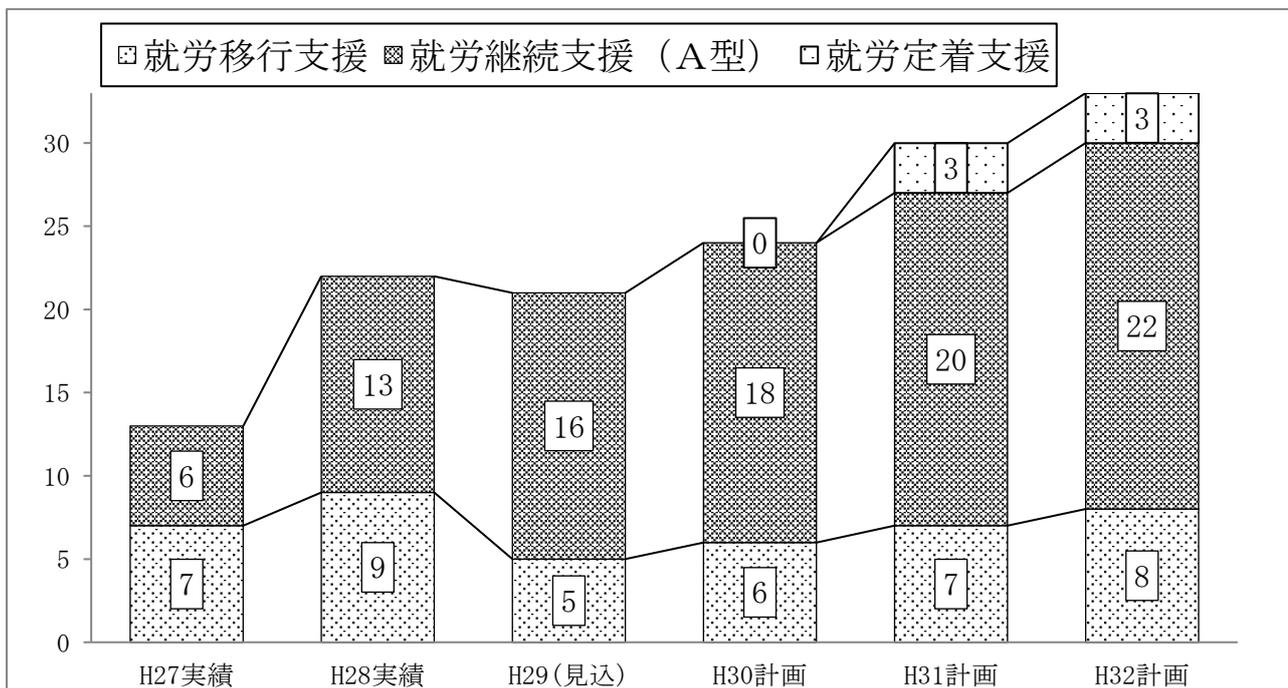
就労継続支援（A型）は、通所可能な近隣市町に事業所が開設されたことから利用者が増加傾向にあり、現利用者を基本として第4期計画の実績を参考に新規利用者を毎年2名見込みます。

就労定着支援は平成30年4月からサービスが開始され、国の指針に従い、1年後の利用状況を見込むことから平成30年度の目標値は設定せず、平成31年度以降を成果目標で設定した一般就労への移行割合及び第4期計画中的実績を参考に設定します。

一月当たりの 標準的決定サービス量	平成29年度上半期 平均必要サービス量	計画作成時の 利用者数
22日 〔一月(30日)から土日 (8日間)を引いた日数〕	18日	5人
	13日	16人
	平成30年4月から実施のため平成29年度中の実績はありません。	

(単位：人)

サービス体系	第5期計画			平成32年度 (第5期) 目標値
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	
就労移行支援	6	7	8	8
就労継続支援(A型)	18	20	22	22
就労定着支援	0	3	3	3



【 就労移行支援・就労継続支援（A型）・就労定着支援 】

利用見込人数（一月当たりの利用延人数）

サービス体系	第4期計画					
	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	見込
就労移行支援	66	63	102	102	110	89
就労継続支援（A型）	66	88	150	169	352	206
就労定着支援						

一月当たりの利用延人数の現状と第5期最終年度の目標値の設定

就労移行支援は、一人当たり決定サービス量22日に対して、平均実利用日数が18日であったことから、利用実態に合わせて平均実利用日数18日を基本とした目標値を設定します。

就労継続支援（A型）は、利用者が増加傾向にありますが、利用状況で見ると、一人当たり決定サービス量22日に対して、平均実利用日数が13日であったことから、利用実態に合わせて平均実利用日数13日を基本とした目標値を設定します。

就労定着支援は一般就労後も安心して自立した生活ができるよう、目標値は常時支援が行えるよう一月当たり一人22日を基本とした目標値を設定します。

(単位：人／月)

サービス体系	第5期計画			平成32年度 (第5期)
	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
	目標値	目標値	目標値	目標値
就労移行支援	108	126	144	144
就労継続支援（A型）	234	260	286	286
就労定着支援	0	66	66	66

